



コードとプラグの安全な使い方

束ねたコードや、ホコリだらけのコンセントとプラグなどに心あたりはありませんか？
これらは火災につながることもあり危険です。正しい使い方を実践してください！

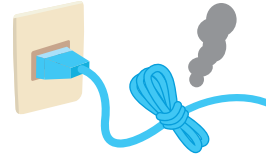
1. コードの正しい使い方



ほあんくん

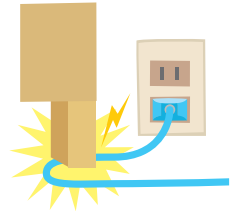
① 束ねたまま使わない

コードを束ねたり、巻いたまま使用すると、コードが過熱して火災の原因になる恐れが。また、被覆が傷んでショートや漏電の原因になります。



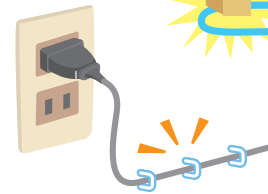
② コードを踏まない

重い物でコードを踏んだり、無理に折り曲げたりするとコードの被覆を傷め、外からの圧力で中の電線が切れることもあります。



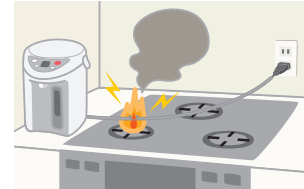
③ コードを固定しない

ビニールコードを釘や金具で固定すると、コードが押しつぶされてショートや漏電の恐れがあり、火災や感電の原因になります。



④ コンロ付近で使わない

ガスコンロのそばに電気製品を置くと、コードが熱で溶けて故障や火事になるおそれがあります。



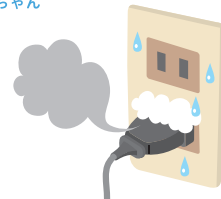
2. プラグの正しい使い方



みまもちゃん

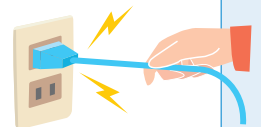
① 掃除をしよう！


コンセントとプラグの間のホコリや湿気は、漏電や火災の原因に。
乾いた布でホコリや湿気を取り除きましょう。



② コードを引っ張らない

コードを引っ張ると断線や過熱の原因に。プラグを差し込むときは「まっすぐ、しっかり」。プラグを抜くときは「プラグをしっかり持って引っ張る」が基本です。



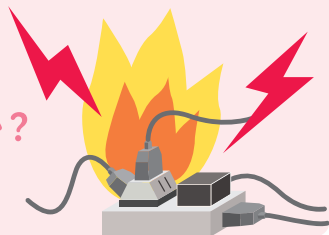
- 当協会や類似した会社名を名乗り、電話勧誘・訪問を行った末、点検料を請求するなど、悪質な事案が発生しています。不審な訪問販売やセールス電話には十分にご注意ください。
- 九州電気保安協会は  のマークの職員証を付けた作業服を着用しています。



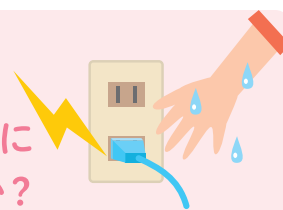
3.こんなところもチェック!



タコ足配線は
していませんか?

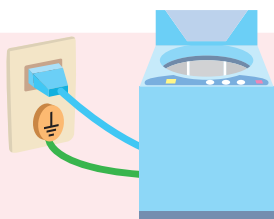


濡れた手で
スイッチやプラグに
触っていませんか?



アースは
取り付けて
いますか?

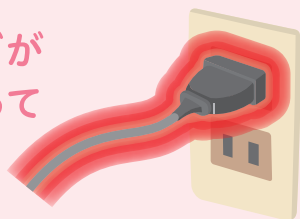
(洗濯機・冷蔵庫・電子レンジ)



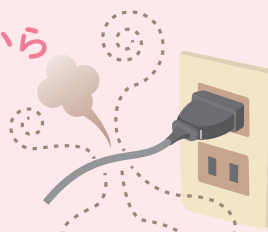
コードを動かすと
電源が入ったり
切れたりしますか?



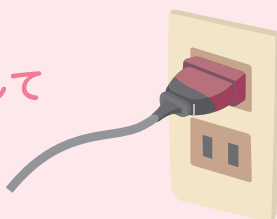
コードやプラグが
異常に熱くなって
いませんか?



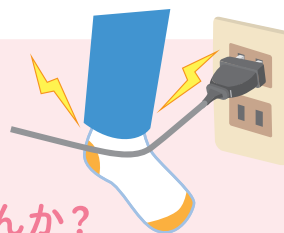
コードやプラグから
こげた臭いが
しませんか?



プラグが変色して
いませんか?



コードが足に
引っかかる
恐れはありませんか?



マグネットプラグの接続に注意しましょう

電気ポットなどのマグネットプラグは、ヘアピンやクリップなどの金属がついてしまう可能性があります。それらがついたまま接続すると、ショートして危険です。プラグに金属片がついていないか確認してから接続しましょう。

